

# 佐川町春日川沿いにおける風景呼応の住宅集合体

小椋雄斗

指導教員 渡辺菊真

高知工科大学 システム工学群 建築・都市デザイン専攻

## 1. 設計の背景

### 1-1 佐川町の概要

佐川町は高知県中西部に位置する町で仁淀川の支流である柳瀬川沿いの構造盆地であり、周囲を山々が囲む。土佐藩筆頭家老深尾氏の城下町として栄えた歴史情緒溢れる町並みが残っている。佐川町中心部には柳瀬川の支流である春日川が流れており、春には川沿いに桜が咲き良好な景観が広がる。



図1 歴史情緒溢れる町並み

図2 春日川

### 1-2 佐川町中心市街地

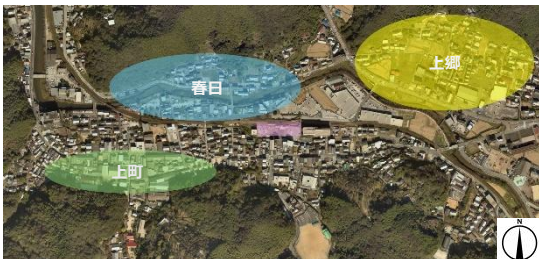


図3 中心市街地航空写真（ピンクが佐川駅）  
地理院地図に加筆して記載

#### ①上町

佐川駅南西に位置し、造り酒屋や商家を中心とした歴史情緒溢れる町並みが残っており、観光客で賑う。

#### ②上郷

佐川駅北東に位置し、国道沿いにロードサイドショップや住宅が立ち並んでいる現代市街地である。

#### ③春日

佐川駅北西に位置し、春日川沿いには桜並木のあふる歩道がのびる。土讃本線の軌道を境界線に上町やその周辺の住宅街とは景観の様態が全く違ってお

り、上町や上郷と比べて自然景観の魅力の色濃く体感できる場所である。ここならではの風景を楽しむ魅力的な住まいを計画できる素地をもつ。

### 1-3 春日の現状

春日川や北の山の緑が合わさった良好な景観に特色がある。春日川の歩道は子供達や地域の方々がよく利用しており、春には桜が咲く。また歩道は周囲の山々に眺望が開けており、山々に抱かれていることが感じられる。しかし、南に建つ住宅の多くが歩道からセットバックせずになつているため、南の山への眺望が確保できず、風景の連続が途切れてしまっている。また、既存の住宅は川沿いの風景を十分に体感できない。



図4 春日川沿いの歩道

図5 風景を体感できない住宅

## 2. 設計の目的

佐川町春日を対象とした、春日川沿いの風景に呼応し、風景の連続をつくる住宅集合体を設計する。

<風景呼応とは>

春日川沿いの風景の魅力に住空間内外で色濃く体感できることを指す。

<住宅集合体とは>

戸建て住宅の集合体であり、集合することでひとまとまりの風景を形成するものである。

## 3. 敷地の選定

選定した敷地は川沿いに対して幅広く向き合える

現在佐川町職員駐車場になっている土地とする。なお、既存駐車場は月極駐車場になっている場所に代替する。

#### 4. 設計の指針

##### A 風景設計の指針

A-1 南への眺望を確保する配置計画

A-2 歩道空間に緑の連続をつくる

A-3 屋根の連続で南の山を結ぶ

##### B 住宅設計の指針

B-1 風景に呼応する空間の導入

B-2 パッシブシステムの導入

#### 5. 設計の内容

##### A 風景設計

###### A-1.配置計画

戸建て住宅を4棟真南向き配置する。南への眺望を確保するために歩道からセットバックして配置し、空いた空間を住宅の庭とする。南側には住宅集合体の歩道と駐車場を配置する。



図6 配置図兼屋根伏せ図

###### A-2.歩道空間に緑の連続をつくる

図6のようにセットバックして空いた空間が庭になることで、歩道空間に緑の連続を生み出す。

###### A-3 屋根の連続で南の山を結ぶ

図14のように歩道と山を結ぶ屋根にする。この屋根が連続することで南の山をむすぶ風景が生まれていく。



図7 風景の連続をつくる屋根

##### B 住宅設計

###### B-1 風景に呼応する空間

アプローチで北の山に出会い、ウチニワと食間からは庭と南の山を眺める。居間の高い位置からは北

の山の存在をより強く感じられる。風景に呼応する空間がスキップフロアでつながることで風景の方向への意識が強くなると共に、シーケンシャルに風景の魅力を体感できる。

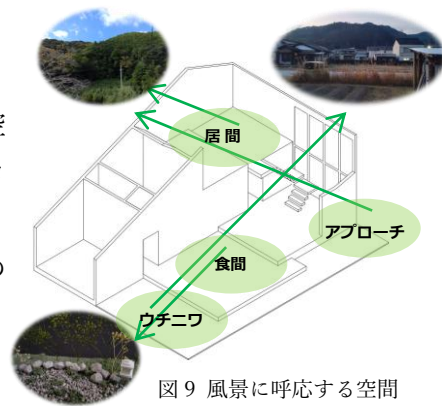


図9 風景に呼応する空間

###### B-2 パッシブシステムの導入

住居にパッシブシステムを導入する。前提として外皮性能を向上させ、開口部にはLow-Eガラスを使用する。夏季のPassive Coolingについて、南面大開口に庇を設けて日射遮蔽をする。夜間には積極的に換気し、蓄冷する。土間やウチニワの床材には蓄熱コンクリートを使用し、蓄冷の恩恵を最大限に活用する。冬季のPassive Heatingについては南面大開口から日射所得を行う。中間期においては積極的に通風し、快適な室内を保つ。

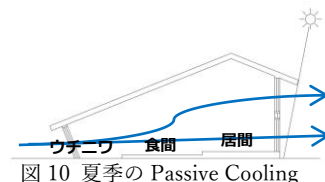


図10 夏季のPassive Cooling

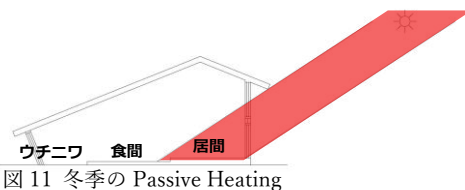


図11 冬季のPassive Heating

#### 6. まとめ

住宅集合体の設計を通して、春日川沿いの歩道空間に風景の連続をつくと共に、魅力ある風景に呼応する快適な住宅集合体を設計することができた。住宅集合体ができることによって、子供達や地域の方々にとって魅力ある歩道空間になると同時に、住む人は快適な空間で風景の魅力を色濃く感受できる。

#### 7. 参考文献

- ・ 国土地理院地図
- ・ 佐川町歴史的風致維持向上計画
- ・ 佐川町街なみ景観条例